

5分つや・3分つや・つや消し JIS K 5663 1種 合成樹脂エマルジョンペイント

つや有り JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント

F★★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

多機能

多用途

# 水性 セラマイルド

水性反応硬化形エマルジョンペイント

## 建物の新設・改修 塗装の内外装に!!

抗菌

防カビ  
防藻

透湿

ヤニ止め

速乾

低臭

低VOC

鉛クロム  
フリー

水性1液

付着力

強力な付着力でシーラーレスにも対応!

淡彩色から濃彩色、各艶調整が可能!

## 充実の機能が様々なシーンで

### 多機能



### 用途

戸建住宅・マンション・商業施設などの内・外壁面の新設・改修塗装  
内部及び準外部の木部・鉄部改修塗装

### 適用下地

- 【新設】コンクリート・モルタル・石膏ボード・スレート板・  
けい酸カルシウム板 など
- 【改修】上記各種素材及び木部・鉄部の各種旧塗膜

#### ヤニ止めレベルの目安

参考色

日塗工 No.25-90D

日塗工色見本No25-90Dより著しいヤニの場合は、中性洗剤で入念な洗浄～乾燥後、下塗に「ストップシーラー」を塗装してから本品で仕上げてください。

### 容量・荷姿

【16kg石油缶】57～67㎡/2回塗り  
【4kg丸缶】14～17㎡/2回塗り

塗料名		系統	容量	色
水性セラマイルド	つや有り	水性反応硬化形 エマルジョンペイント	16kg 4Kg	各色
	5分つや			
	3分つや			
	つや消し			

### 艶調整混合比

水性セラマイルドつや有りとつや消しを混合することで  
お好みの艶に調整できます。

艶	水性セラマイルド	
	つや有り	つや消し
7分艶	90	10
5分艶	80	20
3分艶	60	40

上記の比率で混合してください。

# 活躍します！

## 多用途



### 塗膜性能〈水性セラマイルドつや消し〉

#### JIS K5663 合成樹脂エマルジョンペイント 1種試験結果

試験項目	規格	試験結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になること。	○
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障がないこと。	○
低温安定性 (-5℃)	変質しないこと。	○
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	低温状態 (5℃)	4時間以内
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること。	○
隠ぺい率 % [白及び淡彩]	93以上	○
耐水性	96時間浸したとき異常がないこと。	○
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないこと。	○
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えること。	○
促進耐候性 (XWOM 240時間)	初期と白亜化等級の差が1以下。 膨れ、はがれ、割れがなく、色変化の程度が見本品に比べて大きくないこと。	○
屋外暴露耐候性 (銹し12か月)	白亜化及び色の変化の程度が見本品に比べて大きくないこと。膨れ、はがれ、割れがないこと。	○

### 素地旧塗膜適性

素地	新設適性	塗替適性/旧塗膜	
せっこうボード	○※1	○	EP
モルタル	○※1	○	EP
コンクリート	○※1	○	AE, VE
スレート	○※1	○	VE, EP
PC版、押出成形板	○※2	○	AE, VE
ケイカル板	○※2	○	EP
ブロック	○※3	○	NAD, EP
木毛板	○※4	○	NAD, EP
木	○※5	○	SOP, EP
鉄部	○※6	○※7	SOP
塩ビクロス	—	○※8	—

EP: 合成樹脂エマルジョンペイント AE: アクリル樹脂エナメル VE: 塩化ビニール樹脂塗料  
NAD: 非水エマルジョン塗料 SOP: 合成樹脂調合ペイント

#### 【新設時の推奨下塗り】

※1. エコカチオンシーラー、※2. エボMシーラー、※3. アレスエアレスフイラー  
※4. アレス水性エポキシ、※5. アクアグランドコートII、※6. アクアマックスExII

#### 【水性セラマイルドの塗替適性】

※7. つや有り〜3分つや(つや消しは適用できません)、※8. つや消しのみ  
※水性セラマイルドつや消しは、旧塗膜がつや有りエマルジョンペイント面、つや有りNAD面、弾性塗材面、リシン面やスタッコ面には適用できません。

# 標準塗装仕様

## ■ 改修塗装仕様 (内・外壁面) ヤニの付着がある場合は、「ヤニ止めレベルの目安」を参照のこと

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (重量%)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	浮いた旧塗膜や付着力の低下した旧塗膜は取り除く。粉化物、油分、汚れ、ごみ、カビなどを取り除き、十分乾燥させる。					
上塗	水性セラマイルド	2	0.12~0.14	5~10 (上水)	2時間以上	ハケ・ローラー

## ■ 新設塗装仕様 (内・外壁面) コンクリート・モルタル・せっこうボードなど

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (重量%)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	エフロ・レタンスなどの粉化物、汚れ、油分を除去し、十分乾燥させる。 コンクリートの場合はpH10以下、表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)まで乾燥させる。					
下塗	エコカチオンシーラー	1	0.08~0.12	無希釈	2時間以上7日以内	ハケ・ローラー
上塗	水性セラマイルド	2	0.12~0.14	5~10 (上水)	2時間以上	ハケ・ローラー

## ■ 木部塗装仕様 (内・準外部)

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (重量%)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	汚れ・付着物を除去し、研磨紙P120~240を用いて研磨紙ずりを行う。 節及びその周辺はラックニスを用いて節止めを行い、穴埋めの必要があればポリパテなどで穴埋めを行う。					
下塗	アクアグランドコートII	1	0.13~0.17	5~10 (上水)	2時間以上7日以内	ハケ・ローラー
上塗	水性セラマイルド	2	0.12~0.14	5~10 (上水)	2時間以上	ハケ・ローラー

## ■ 鉄部改修塗装仕様 (内・準外部)

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (重量%)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	浮いた旧塗膜や付着力の低下した旧塗膜は取り除く。粉化物、油分、汚れ、ごみ、カビなどを取り除き、十分乾燥させる。					
下塗	アクアマックスEXII	1	0.13~0.15	0~5 (上水)	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー
上塗	水性セラマイルド	2	0.12~0.14	5~10 (上水)	2時間以上	ハケ・ローラー

### 《施工上の注意事項》

- 気温5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- 冬の室内施工の場合は、採暖養生等により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。
- 屋内塗装中および塗装後に部屋が密閉されていると、乾燥不良や色相や艶の変化を生じることがありますので十分に換気してください。
- 屋外において降雨、降雪、強風の恐れがある場合は塗装を避けてください。
- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などにより増減することがあります。
- 塗装間隔は環境(温度、湿度、換気回数等)や膜厚によって変わります。
- 新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 劣化が著しい下地や吸込みの著しい下地では、浸透形Mシーラーをご使用ください。
- 本品は外部適性を有していますが、耐久性が期待される外壁には外壁専用塗料をお勧めします。
- 水性セラマイルドつや消しは、リシン面やスタッコ面など粗面が吸込みが大きい旧塗膜の塗替では塗料が厚く付くため割れが発生する場合がありますので、使用できません。
- 綿壁、繊維壁、耐火被覆材(ロックウール)、耐火被覆用酸性酸カルシウム板など弱い弱素材への塗装は避けてください。
- 材料は規定する希釈率範囲を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してから使用してください。
- 既存塗膜の剝離箇所は、予め既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 漏水がみられる場合は、予め要因となっている箇所への防水処理を行ってください。
- 蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で旧塗膜が弾性シリコンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れが更に拡大することがありますので、旧塗膜を除去するなどの入念な下地処理を行ってください。
- 新設コンクリート面に塗装する場合、pH10以下、表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、又は表面含水率5%以下(ケツ科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)まで十分乾燥させてください。
- 被塗物にかび・藻が繁殖している場合は、下地処理としてかび・藻の除去および殺菌処理してから塗装してください。
- 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、これらの効果が十分に発揮されない場合があります。
- 弾性塗料等の柔らかい塗膜の上への艶消し塗料の塗装は、割れが生じるおそれがあるため避けてください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- タイル洗浄剤が塗面に付着した場合、塗表面の変色や早期劣化を生じることがありますので塗膜面の養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剝離、収縮割れなどの不具合が発生することがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認してください。また、水性エポキシ樹脂やシーラを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類の種類、使用条件などにより剝離、収縮割れが起こることがあります。

- 結露が発生する場所では、塗料中の微量の水溶性成分が表面に溶出し粘着物となって析出することがあります。
- 塗装前の部位にワックスやフリーナーなどが残存している場合には、ハジキや付着不良の原因となりますので、十分に除去してから塗装してください。
- 可塑性が多く含まれる部材(塩ビ鋼板、ゴムパッキン、ラミネート、合成皮革、プラスチックなど)への直接塗装は避けてください。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。
- 艶消しは塩ビクロス面への塗装ができますが、汚染防止加工クロス(シリコン加工)、紙クロス、布クロスには塗装できません。
- 塩ビクロス面に塗装する場合、ハガシ、めくれ、浮き部、合わせ部等は接着剤で補修してから塗装してください。
- ヤニやアークが着しい場合、塗膜からヤニやアークがにじみ出る現象(ブリード)の発生があります。ウエスなどで水拭きで付着物質を除去後、十分に乾燥させてから塗装してください。
- 鮮やかな赤系、黄系、青緑系の色で仕上げる場合は、下地が透けやすくなり塗り回数が増える傾向があるので注意してください。白を混合した共色を下塗りすることで効率的に仕上げる可能性があります。事前の試験塗装をお勧めします。
- 濃色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くすると、色落ちや艶変化が起こる場合がありますので、衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- ドアや手摺など人の手が頻りに触れる所では、手垢汚れ、皮脂、クリーナー、整髪料等の影響で塗膜が軟化し、繰り返しにより塗膜が剥がれる事があります。このような部位には溶剤系2液ウレタン塗料をお勧めします。
- 塗料の希釈率は試験塗装などにより決定し、それに降は同じ希釈率で塗装してください。
- 被塗物の形状、膜厚や色目、塗り回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 仕上げ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、仕上げ肌や色相に差が生じます。
- 刷毛はナイロン刷毛を使用してください。獣毛刷毛は固まったリタマになりやすいので使用しないでください。
- 使用後の刷毛やローラーなどは速やかに水で洗浄してください。固まった場合は、ラッカーシンナーで洗浄してください。
- 補修塗りを行う際には、同一の塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 内装仕上げ後、当たり傷等のパテ補修面には、必ず所定のシーラーを塗装した後、本品で仕上げをして下さい。シーラーが補修面に未塗装の場合、本品の吸い込み程度の違いにより、艶ムラや色相が異なって見える事があります。
- 現場での材料は、容器を密閉してからシート掛けし、直射日光・凍結を避けた屋内(5~40℃)で保管してください。開栓後の塗料はできるだけ早くに使い切ってください。また使用した塗料を元の塗料容器に戻さないでください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 《ご使用上の注意事項》下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 【予防策】 取り扱いは作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気、スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱いは作業場には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。本来の目的以外に使用しないこと。指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱いは、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。本品の付いた布類や本品のかけ等は水に浸して処分すること。
- 【対応】 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。吸入した場合: 空気

- の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。火災時は、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 【保管】 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 【廃棄】 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 【施工後の安全】 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工者に対して安全に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立ち看板などでベタ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は  
こちらから!

各種カタログご覧になれます。